

川柳マガジンクラブ東京句会 2月

平成20年2月10日 亀有中央商店街にて

参加者25名

村田倫也、南野耕平、伊藤三十六、加藤品子、

五十嵐淳隆、山口千枝子、小倉利江、甲野竜雄、白勢朔太郎、高田以呂波、棚瀬くんじ、若山かな、関玉枝、宮内みの里、河野桃葉、横山きのこ、藤井成子、菊地順風、水野絵扇、渋川溪舟、植竹団扇、松橋帆波

欠席投句 星出冬馬、渡辺まもる、井手ゆう子、

### 宿題「試す」 植竹団扇

選

「佳作」

また夜が僕を試しにやってくる 耕平  
お試しの見合いが赤い糸になる 品子  
別れたいなんて夫に言ってみる 千枝子  
マネキンを脱がして春を試着する 朔太郎  
試着室細身に見える鏡置く きのこ  
日中の仲を餃子に試される 利江  
お客様試食してます店主より 千枝子  
鈴なりの渋柿カラス試食せず 桃葉  
包丁の研ぎ加減見る指の腹 成子  
流水へ先ず親熊が乗って見せ 絵扇  
おみくじは吉が出るまで買い漁る 絵扇  
とりあえずキスしてから好きになる ゆう子  
オレオレと母に電話を掛けてみる まもる  
便秘症料理に下剤ちよつと入れ 竜雄  
バイキング気分デパ地下をうろつく 絵扇  
「秀作」

難病へ望みを託す治験薬 みの里  
面接官社の品格を試される きのこ  
生きる気を試す薬の副作用 利江

※特選はありませんでした。

#### ◎没句評(抜粋)

男が女を、女が男を試すという表現が多かった。

イエスノー試す答えに灰をかけ  
試してるあの手この手で探り入れ

試されたようで振り向けないのです  
あーらあれね試したけどすまし顔

春の風あなたの愛を試してる  
家出して反応を見る倦怠期

似たような作品で、悪くはないのだが、入選句と比較すると採れない。

七色の涙を使いルーージュ足す  
ちよつとわからなかった。

そつと手に触れて始まる老いの恋  
「手に触れて」なので始まるというより始め

たということになる。  
「そつと手が触れて」ならわかるのだが。

二十四時貴方を試すメール打つ  
愛試すあなたに投げる変化球

同じような作品。悪くはないが採れない。  
利き酒を全部飲み干し救急車

一見ユーモア句に見えるが、無理に笑わせて  
いるのでは。

面白いがリアリズムに欠ける。  
中国の餃子夫と子から食べ

これは「食べさせる」という意味なら理解で  
きるが「食べ」ではない。

給食費食わずに味見だけはする  
給食の試食会のことだろうか。給食費を払わ

ない事と、味見の関連がいまひとつ不明。  
子の育ち一度は試す砂の味

誰が試すのだろう。子どもが砂の味を試すの  
か、子育ての中で砂をかむような思いをする

のか。  
甘さ見る振りしてアンコまた口へ

何度も食べるのだろうか、見る振りというの  
はどうだろう。

まず鼻を利かせ冷凍品食べる

時事吟だが、今の事件ではそんなのだろうが、採れない。

何グラム問題にせず母の味  
計量カップを使わないという句に負けている。

デパ地下で試食してみる句の物

デパ地下をうろつくと云う想に負ける。

ありがちな作品。

試供薬急場を凌ぐ胃の痛み

試供薬でなくてもいいし、それがあって助かったという句意でもない。

神仏を試すか絵馬の高望み

神仏を試すという風に絵馬を理解していいのかどうか。

試着を題材にしたもの。

試着して伸ばした服は棚の奥

試着した脂肪が脱げずジム通い

迷う質試着室から出られない

㊦版が無理だとグチる試着室

感嘆詞言葉漏れてる試着室

どれもありがちな作品。

上り詰め下りの足が試される

深い意味かも知れないと迷ったが、上り下りまで計算に入れて人生を歩むという道句かな。

ベンチャーへ踏み絵となった原油高

踏み絵の意味の解釈が違うのでは。試すと踏み絵は意味的に違うのではないか。

冬の蠅試行錯誤の行き止まり

自生の深さを詠んだとも取れるが、俳句ならいいのかもしれないが。迷ったが採れなかった。

## 互選 「 適当 」

### 互選結果上位

#### 5点句

適当にさぼれと医者が無理を言う

絵扇

小煩い奴は一先ず煙に巻く 三十六

どちらにも相槌を打ち抓られる 団扇

おでん鍋母の味見がきいている 成子

#### 6点句

来たバスに乗ればどこかに着くでしょう

耕平

とりあえず頭を下げておきますか

耕平

愛してる？ うん愛してる愛してる

耕平

#### 9点句

打って付けなどと御輿に乗せられる

倫也

風穴を開けて聞いている妻の愚痴

利江

整理・松橋帆波